

《 浅草橋地区町会連合会 》

開催日：10月2日（金）

◇新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きい経済活動への支援について

質問	回答	対応
<p>新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令され、自粛要請により人々の行動範囲が狭まり、商店街では来客がなく経済活動が麻痺しています。緊急事態宣言は解除されたものの、ここに来て第2波の感染者が増幅し、特に飲食店・カラオケ等のお店は再び営業時間の短縮などの要請を強いられ、苦戦している状況です。台東区独自の支援策はあるのでしょうか。</p>	<p>5月に緊急事態宣言は解除されましたが、飲食店やカラオケ等への時短営業要請により、来街者は減少しています。この時短営業要請も9月15日に終了しましたが、減少した来街者を増やし、消費拡大につなげていくために、本区が「安全で安心なまち」であることをアピールする「新しい日常取組店舗応援事業」を進めております。</p> <p>そして、新しい日常に取り組んでいることを掲示する「宣言書ステッカー」の配布や、区の産業情報誌「ネットワークたいとう」に店舗情報を掲載するなど、安全・安心に取り組む店であることを紹介しております。</p> <p>また、10月から店舗の責任者に対し、店舗での感染予防策を効果的に実施していただくため、感染予防の知識や実技を学べるセミナーを開催します。</p> <p>さらに、飲食店の組合等から推薦された方に感染予防の講習を受講していただき、受講後には「新しい日常取組推進員」に認定し、推進員が行う周知・啓発等の活動に係る経費を補助することで、感染症予防策の普及をより一層促進してまいります。</p> <p>今後も、区民の皆さまの暮らしを支えるために、全力を挙げて取り組んでまいります。</p>	○

◇風水害時の対応について

質問	回答	対応
<p>近年、想像を絶する自然災害が多発しており、秋にかけて大型台風が発生し、万が一荒川・隅田川・神田川が決壊するようなことがあれば、台東区もかなりの洪水に襲われることとなります。</p> <p>コロナが蔓延する最中に風水害が発生した場合、避難場所として指定されている台東育英小学校に避難することになりますが、3密の状況は避けられないのではないかと心配です。台東区として3密にならない工夫、あるいは分散施設を確保する対策などは予定しているのでしょうか。</p>	<p>浅草橋地区では、荒川と神田川の氾濫が想定されております。隅田川については、荒川から隅田川に分岐する場所にある岩淵水門を閉鎖するため、氾濫することは想定されておられません。</p> <p>荒川が氾濫した場合は、浸水が3～5mとなり、2週間以上継続することが想定されます。2階以上にお住まいの方でも孤立する恐れがあるため、区が避難情報を発令した場合には、直ちに、上野公園や谷中墓地などの浸水区域外への避難をお願いいたします。</p> <p>神田川が氾濫した場合は、浸水が1m未満と想定されているため、2階以上にお住まいの方は、ご自宅にとどまっていたきたいと思います。避難場所での「3密」を避けるため、自宅での安全が確保できれば、「在宅避難」をお願いしております。</p> <p>また、避難場所を区内に16か所開設し、浅草橋地区には、台東育英小学校と浅草中学校の2か所を開設いたしますので、分散して避難していただけます。</p> <p>今後も防災施策を着実に推進し、区民の防災力の向上を図ってまいります。</p>	<p>—</p>

◇地域住民とのコミュニケーションを深めるために

質問	回答	対応
<p>柳橋町会は、令和2年4月1日現在で1,783世帯ですが、令和3年にはマンションが248戸増え、計2,031戸となり、実に全世帯数の85%がマンション世帯となります。</p> <p>町会運営は、地域住民の連帯感をはぐくみ、地域の福祉・環境・防災・防犯などのさまざまな課題に取り組んでおりますが、マンション世帯とのコミュニケーションを深めることに苦慮しております。そのためには、高齢者の談話室、PTAと子供対象のイベント開催、防災団の研修、若返り体操会、町会内班長会議、永寿総合病院柳橋分院との健康セミナー等の集会を行える場所が必要だと感じております。</p> <p>現在、有料の場所を借りて実施しているものもありますが、JR総武線ガード下を借り上げるなど、区でもぜひ「地域住民が集える場の提供」を検討していただけないでしょうか。</p>	<p>集合住宅居住者の町会加入が進まないことについては、区でも課題であると認識しております。集合住宅居住者が町会に加入し、活動に参加することで、さらに地域の活性化が進むと思います。</p> <p>そこで、区では町会加入リーフレットの配布や、建築事業者に対して「集合住宅の建築及び管理に関する条例」において、町会加入について町会と事前に協議するよう指導するなど、加入促進に努めております。また、現在、町会と集合住宅居住者との関りを作るきっかけづくりを検討しているところです。</p> <p>地域住民が集える場所については、区民館等、既存の施設をご利用いただければと思います。</p> <p>今後も、地域の要望に添ったまちづくりを行っていく必要があると思いますので、区民や事業者等が主体となるまちづくりを推進してまいります。</p>	<p>△</p>

◇浅草橋駅周辺まちづくりについて

質問	回答	対応
<p>浅草橋駅周辺まちづくりについては、平成18年台東区都市計画マスタープランにより方向性が示されましたが、実際には旧福井中の跡地活用を念頭においた局地的なプランであり、15年経過した現在、残念ながら浅草橋ヒューリック以外に目立った開発が進んでいると思えません。</p> <p>一方、その間の街の変貌は問屋業の衰退に伴い、事業撤退が相次ぎ、商店の多くはビルテナントに業態代えし、テナントとして多くの飲食店・居酒屋が入居する典型的な駅裏化が進んでいます。</p> <p>このような街の変貌は地域住民にとって決して望ましい状況ではありません。確りとした長期的政策不在のまま今後この地域の開発が遅れることは、今後JR浅草橋駅周辺の開発をより難しくする原因となる恐れがあります。また区の南の入口に位置するこの地域の開発の遅れは、区全体のイメージ低下に繋がるものと危惧しております。</p> <p>現在「浅草橋まちづくりプロジェクト」の動きがあると聞きましたが、地元町会としてそこに至るまでの経緯を知らず、区との情報共有が図れているとは言い難い状況です。</p> <p>区として、浅草橋駅を中心とする周辺地域を20年後にどのように開発していくのかといった地域開発の方向性・プランを検討しているのでしょうか。</p> <p>また、委員会で本年度以降、地元住人との勉強会を開催し、まちづくりを検討するための地元組織「まちづくり協議会」を立ち上げるとの発言がありましたが、今後の予定についてお聞かせ願いたいと思います。</p>	<p>浅草橋駅周辺における、問屋業者の減少などに伴うまちの変遷については、区としても認識しております。概ね20年後の将来像を描いた「台東区都市計画マスタープラン」においても、浅草橋・柳橋地区を拠点性の向上やまちづくりの課題解決の必要性が高い「まちづくり推進重点地区」として位置付けております。</p> <p>また、平成30年度から令和元年度に、当地域のまちづくり基礎調査、アンケート、ヒアリング調査などを実施し、区が考えるまちの課題と方向性（案）を整理いたしました。</p> <p>今後、さらに地元のニーズに即したまちづくりを展開していく必要があることから、今年度中に調査結果を共有し、令和3年度以降に、まちづくりの勉強会等を通じて、地域の皆さまのまちづくりに対する機運を図り、まちづくり協議会の設立を目指してまいります。</p>	<p>☆</p>